



～みんなが幸せな学校づくり～

久米小だより

令和7年度

3月号

「未来の自分は 今日自分がつくっている」

先日、6年生の理科の学習の一環として「南極クラス」という授業が行われました。これは、南極地域観測隊の方から、南極での暮らしや仕事、自然のすばらしさ等についてお話を伺うというものです。久米小には、第65次越冬隊として南極に行かれた松本巧也様が講師として来てくださり、本当に貴重な時間となりました。



松本さんは子どもの頃、学校に行けない日もあったとのこと。それが大人になって南極まで行ける自分になったと力強く語っていただきました。

そして、講演の後に校長室でもお話を伺ったのですが、その中で、私が一番心に残っているのは、「人にしたことしか自分に返ってこない」という言葉です。

一年以上も生活を共にする仲間達と仕事をする中で、困ったことがあれば「協力してほしい」とみんなに発信し、そこから協働体制が生まれる越冬隊チーム。しかし、仲間の声に耳を傾けていない人がいれば、実際にその人が困った時に協力してくれる人はとても少ない・・・等、人として大切なことを多く学んだと話していただきました。

大きな仕事を成し遂げる人には、しっかりとした信念があります。でも、その基になるのは決して特別なことではなく、だれもができることの積み重ねだと思のです。

2月に世界中を熱狂させてくれた「ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック」でも、多くの日本人の活躍がありました。話題となったフィギュアスケートの「りくりゅうペア」は、インタビュー番組の中で「大切にしているのは、食事や練習など“正しいことを、毎日ちゃんとやること”」と語っておられました。

私達も、子ども達と共に日々の暮らしをていねいに営み、「人を大切に」「言葉を大切に」「時間を大切に」しながら、明るい未来の自分をつくっていききたいものです。

「今月の 頑張ったで賞！」

色々なスポーツに頑張っている
久米小の子ども達。
2月11日(水)の祝日には
久米地区駅伝大会があり、
ロードレースにもたくさんの
子ども達が参加していました。

